

うたの古市場周辺地区まちづくり基本計画

宇陀市

令和5年3月

(1) 計画策定の背景・目的

本地区は、奈良県の中東部の山間に位置しており、その歴史は古く古事記や日本書紀にも地名が出てくるなど古代ロマン漂う町で、国宝や重要文化財なども随所に点在しています。人口約4,000人の小さな地域ですが、全国的規模の毛皮革産業があり、「カエデの郷ひらら」や国宝「宇太水分神社本殿」など豊かな自然や歴史を感じさせる観光資源も多く、さらに有効に活用できる可能性を秘めています。

しかしながら、人口減少と高齢化が進み、かつ、地場産業である毛皮革産業も製造品出荷額・事業所数が低下し、地域の活力低下が顕著となってきており、地域の活性化に向けたまちづくりを推進することが喫緊の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、地域の特性を活かしたまちづくりを図る地域拠点について、奈良県と本日で「奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する包括協定書」を平成27年12月に締結しました。これにより、まちづくり基本構想を策定し、平成29年4月に基本協定を締結しました。

<対象地区の位置>

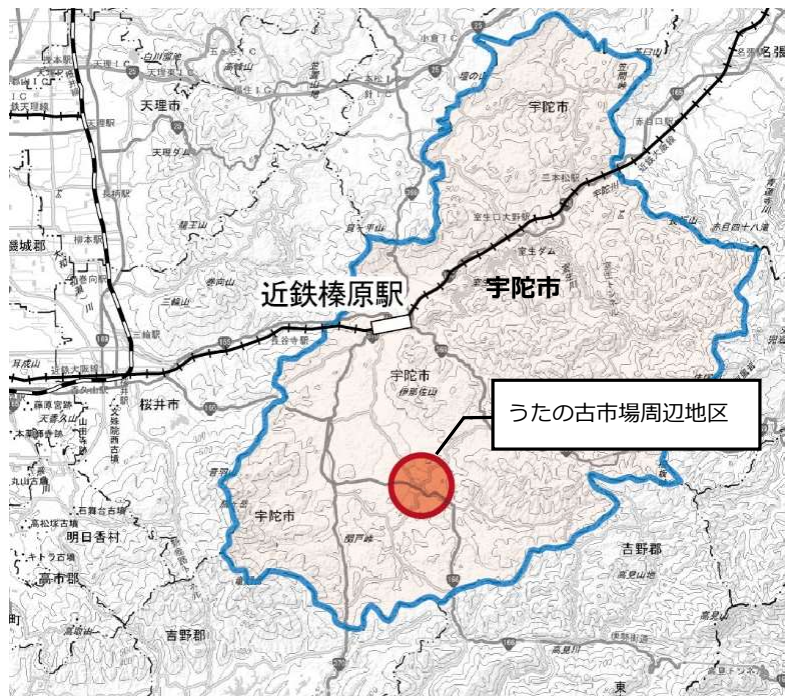


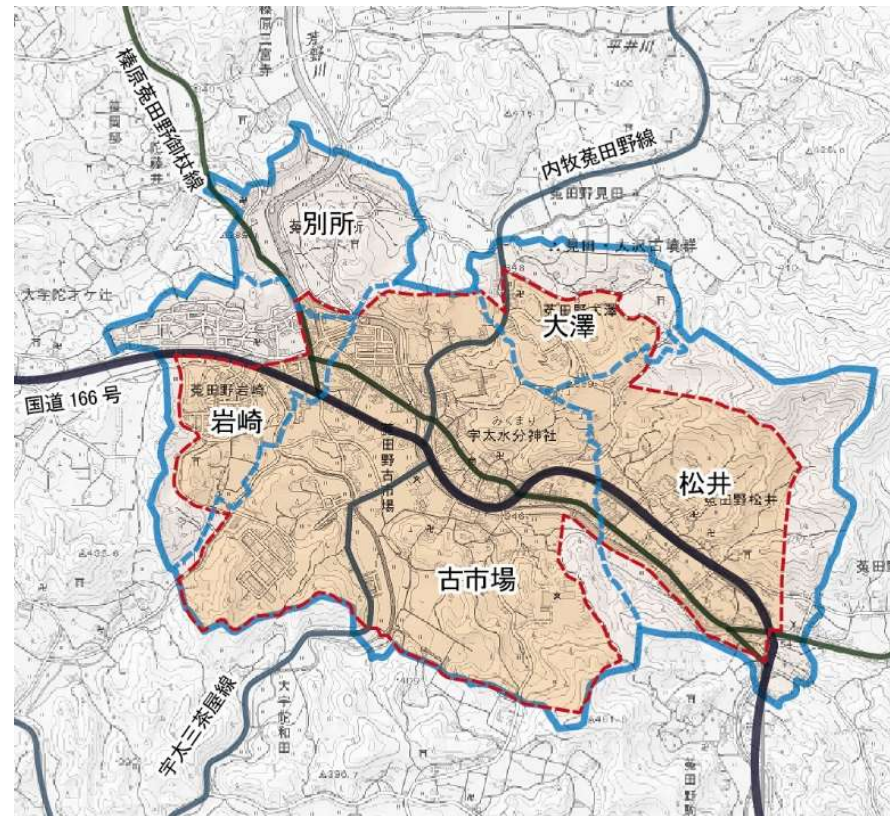
図1-1：地区の位置

(2) まちづくり基本計画策定の目的

まちづくり基本計画は、まちづくり基本構想のコンセプト「悠久の郷「うたの」再発見!! ～誇りある地域資源を見つけ、みんなで磨き賑わいづくり～」に沿ったまちづくりを実現するための事業施策を定めたものです。

引き続き、検討が必要な事業施策等については、令和4年度に立ち上げた「公民連携まちづくりプラットフォーム」等での検討結果を踏まえ、具体化してまいります。

<対象地区の範囲>



※対象地区の分析データについては、国勢調査小地域である菟田野古市場・岩崎・大澤・松井・別所の5地区を対象としている。

図1-2：地区の区域

(3) まちづくり基本計画の位置づけ

本地区のまちづくり基本計画の位置づけおよび上位関連計画を踏まえた本地区の位置づけは、下記に示す通りです。

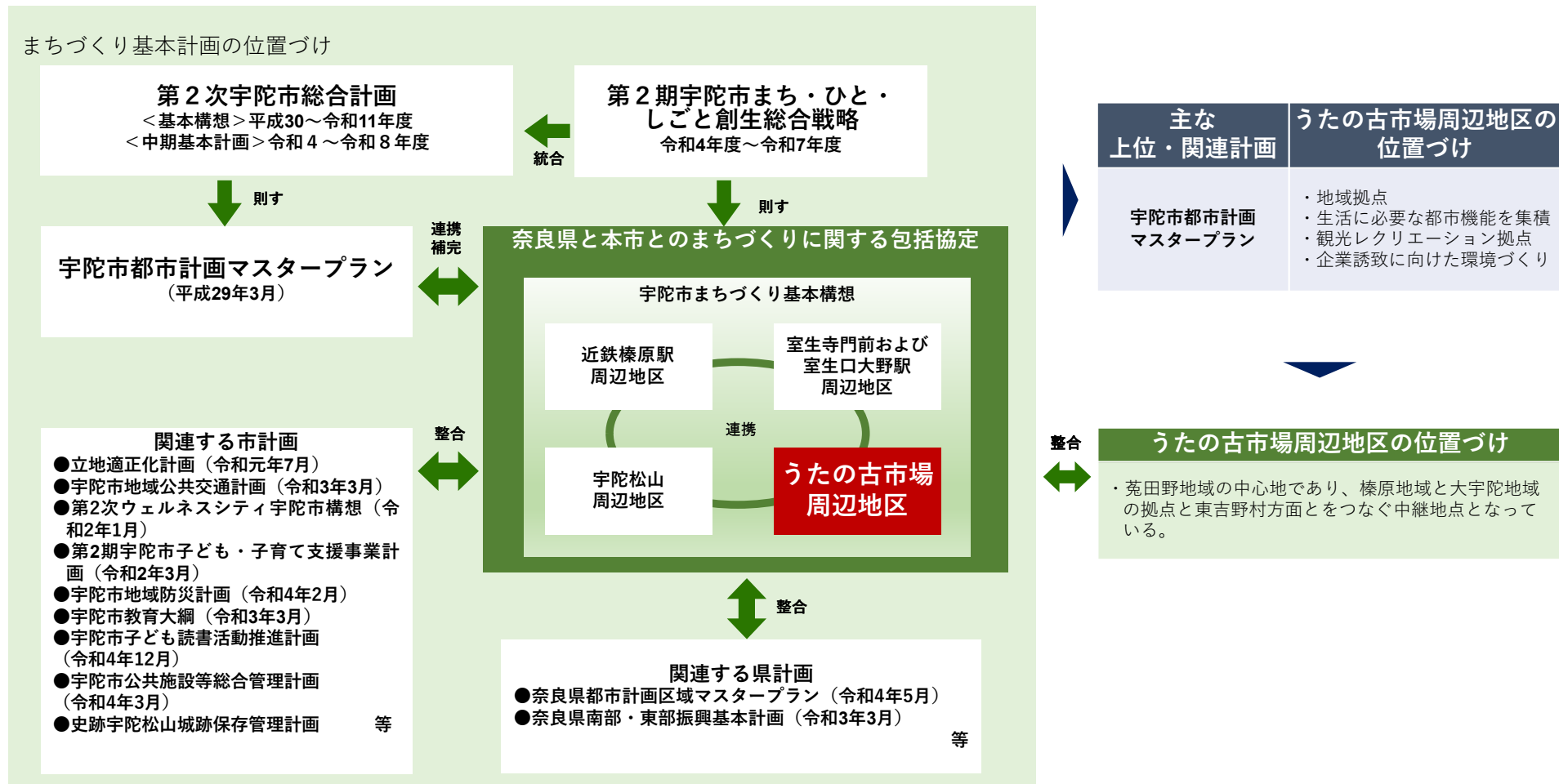
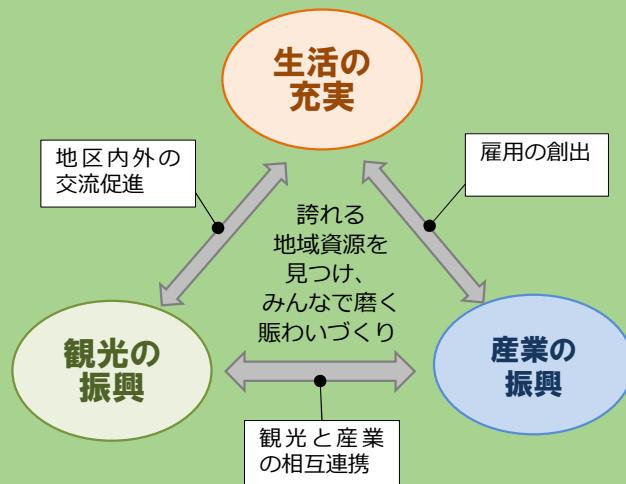


図1-3：まちづくり基本計画の位置づけ

(1) まちづくり基本構想のコンセプト

《うたの古市場周辺地区まちづくりのコンセプト》

悠久の郷“うたの”再発見!!
～誇りある地域資源を見つけ、
みんなで磨く賑わいづくり～



《コンセプトの趣旨》

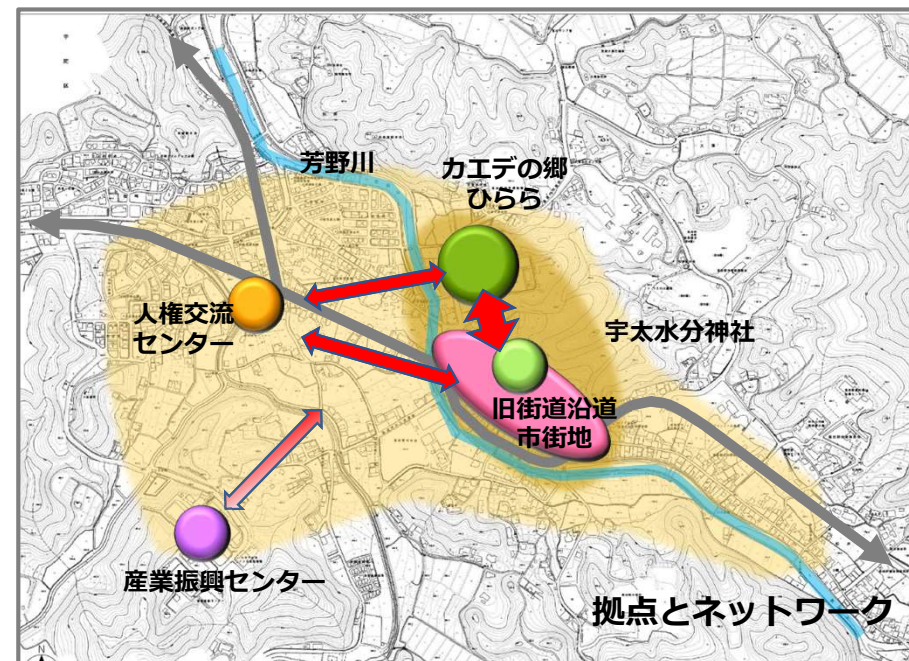
「悠久の郷“うたの”再発見!!～誇りある地域資源を見つけ、みんなで磨く賑わいづくり」を、生活・観光・産業が三位一体（相互連携）になりまちづくりを進めます。

- ◆菟田野地域は神武伝承の舞台となり、伊勢本街道と和歌山街道を結ぶ古くからの市場が形成されるなど悠久の歴史・文化を育ててきた地域であり、誇りある地域資源（史跡・遺跡、文化、産業、建築物、自然景観など）が数多く残されています。
- ◆これらの地域資源をもう一度見直し、まちの活性化に活かすため、地域全員で資源を磨き上げ、まちづくりを進めていくことをねらいとして、まちづくりコンセプトを次のように設定しました。

(2) 地区構造の概念図

本地区の将来の地区構造については、カエデの郷ひらら、宇太水分神社・旧街道沿道市街地、人権交流センターを地区活性化の拠点とし、相互に連携しつつ地区の賑わい創出をめざすこと、さらに、丘陵部に立地する産業振興センターを活かして市街地部での毛皮革産業を活用した賑わい創出をめざすことが可能となる構造を創出します。

＜うたの古市場周辺地区の地区構造＞

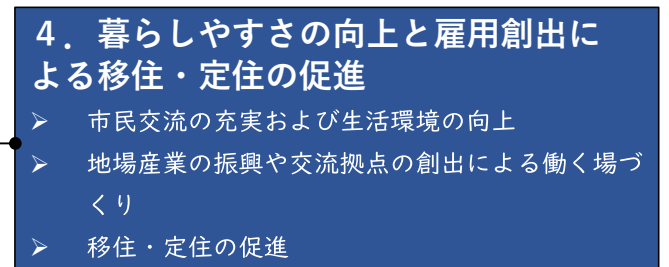
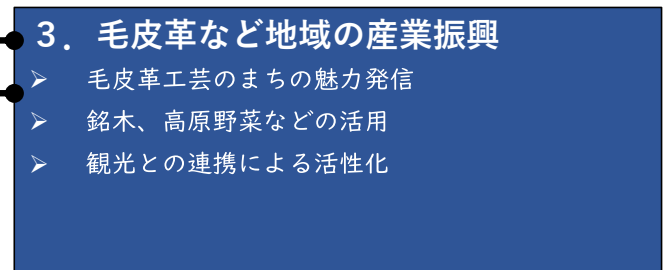
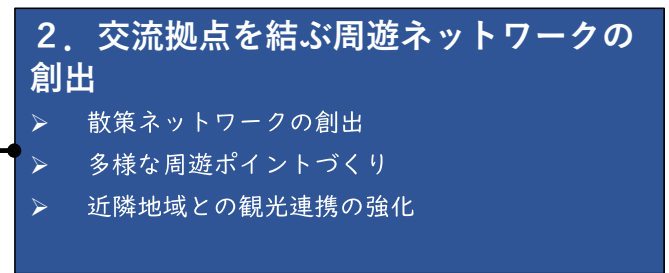
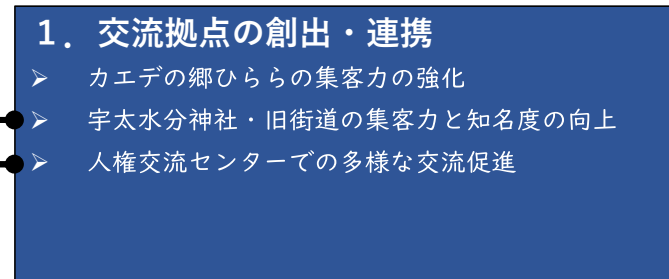
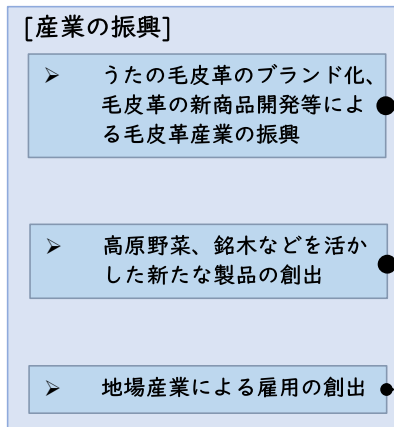
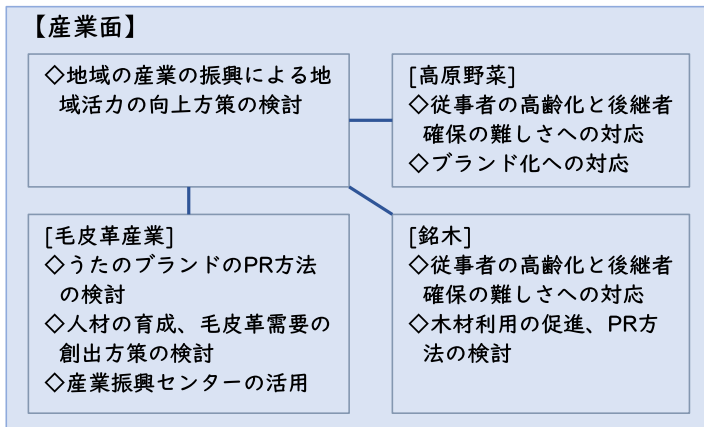
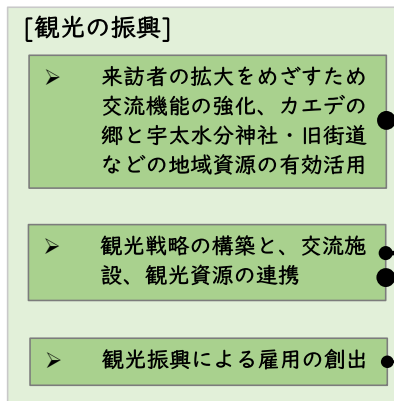
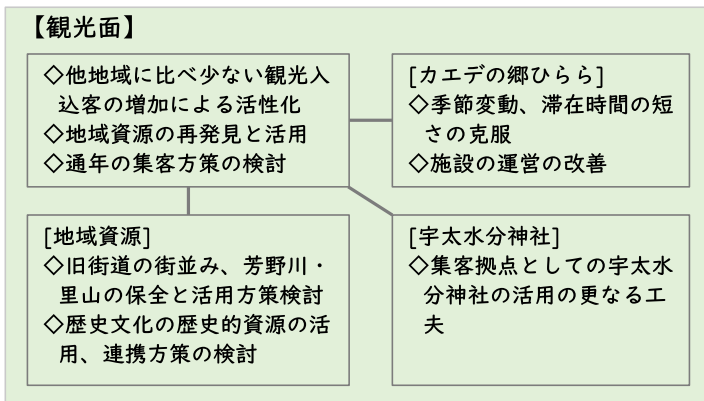
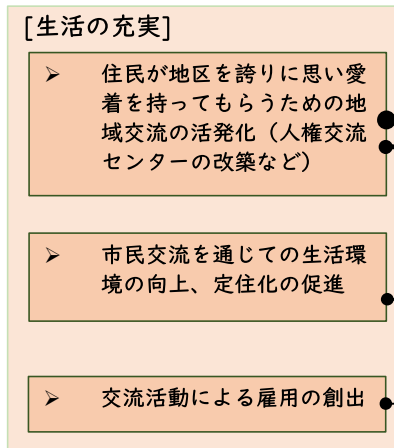
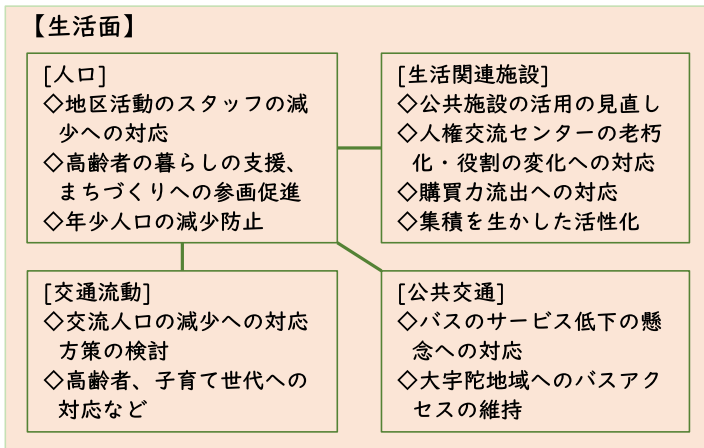


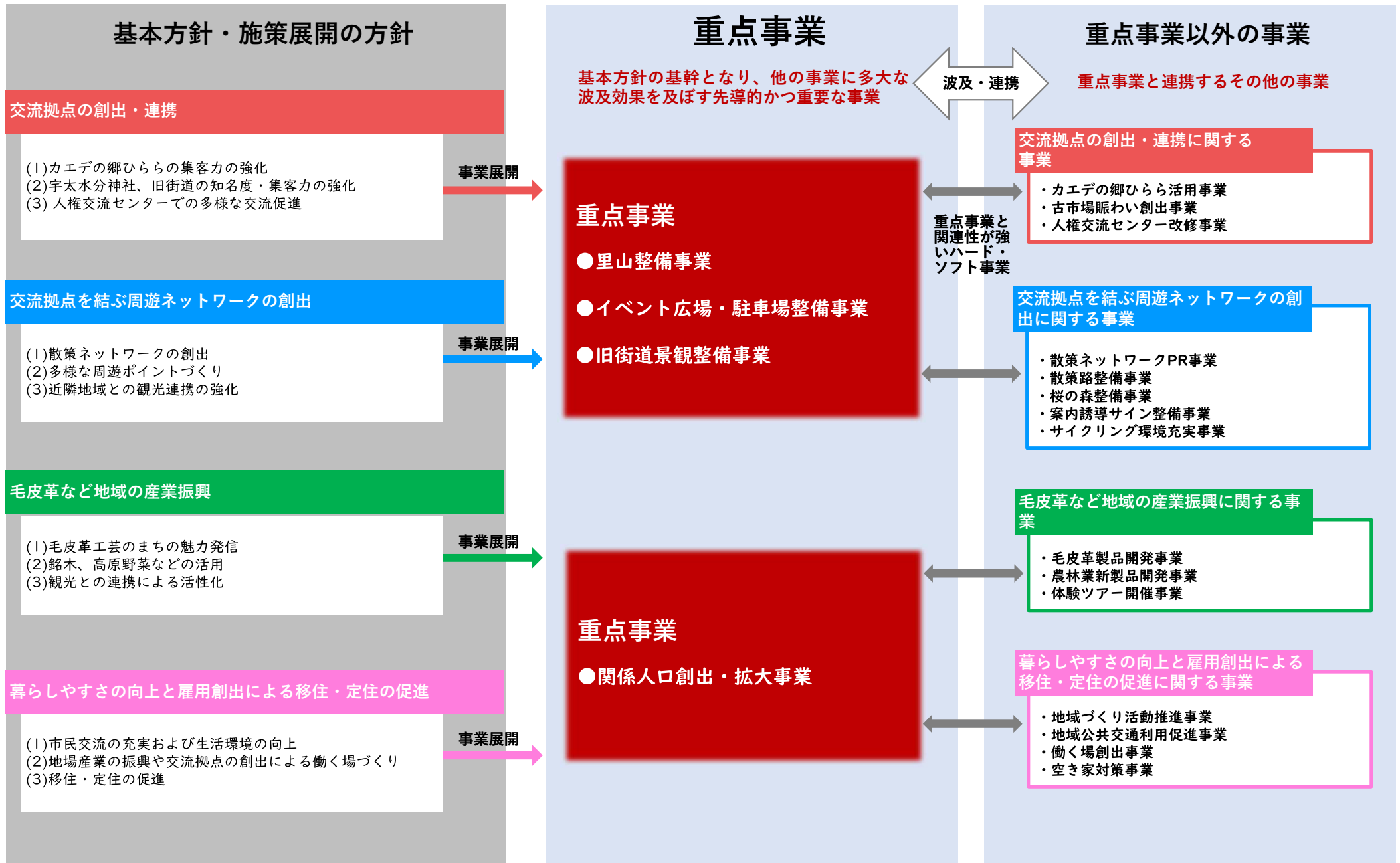
(3) まちづくりの基本方針

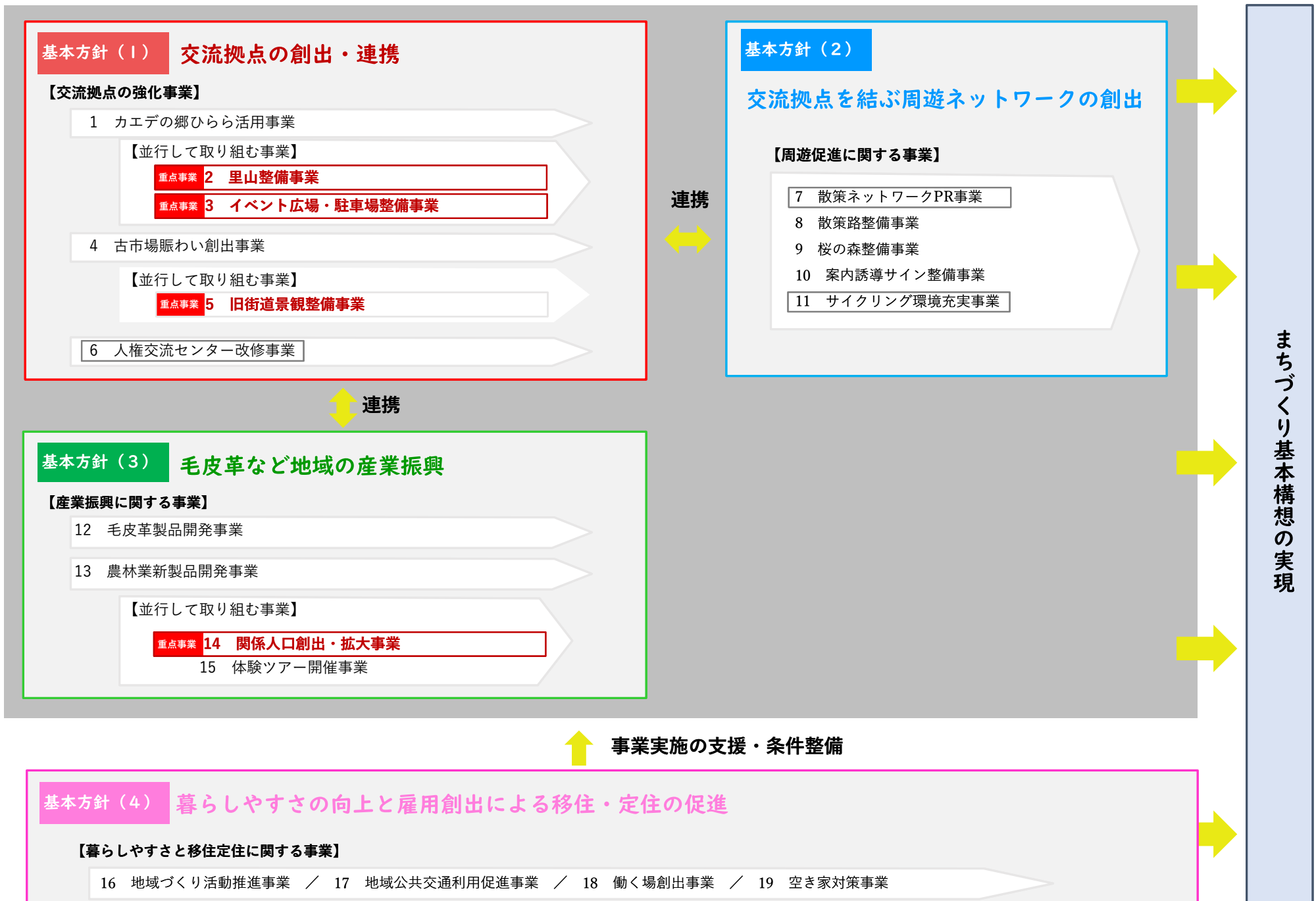
<取組むべき課題>

<施策の方向性>

<まちづくりの施策方針>







□の事業は、短期的事業（５年以内に完了見込み）を示す。

1. 交流拠点の創出・連携

取組中の関連事業・活動

基幹的事业

継続的事业

管理等付帯事業

施策展開の方針	番号	事業名称	事業主体	事業内容	ハード事業	ソフト事業	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度以降	事業手法等
(1) カエデの郷ひららの集客力の強化	1	カエデの郷ひらら活用事業	民間	●施設の利用促進 観光資源カエデの郷ひららの利用促進を行い、集客力の強化を図る。		○		施設の利用促進					
	2	重点事業 里山整備事業	市	●見学用通路整備 カエデの郷ひららの見どころのひとつとして、東に位置する里山に見学用通路の整備や樹種転換を行い、魅力向上を図る。	○		樹種転換 見学用通路整備	施設の維持管理					
	3	重点事業 イベント広場・駐車場整備事業	市	●カエデの郷ひららの集客力強化に寄与するため、イベント広場および駐車場整備を行う。	○		イベント 広場・駐車場整備	イベント広場・駐車場の活用					
(2) 宇太水分神社、旧街道の知名度・集客力の強化	4	古市場賑わい創出事業	民間	●朝市等マルシェの開催 宇太水分神社境内や門前の旧街道の賑わいを創出するため、朝市等マルシェを開催する。		○	事業の継続・取組の拡充						
	5	重点事業 旧街道景観整備事業	市	●宇太水分神社前の旧街道周辺の建造物の修理・修景の支援 門前の旧街道の良好な景観を維持・向上させるため、建造物の修理・修景の支援や案内サイン設置等の環境整備を行う。	○					整備計画の検討	建造物の修理・修景 案内サイン等の整備		社会資本整備総合交付金
(3) 人権交流センターの改修に伴う交流の多様化	6	人権交流センター改修事業	市	●地域の交流活動の活性化 人権交流センターにおける啓発活動を促進し、多様性を包摂した交流を育み、地域活性化を図る。	○		地域交流活動の実施						

2. 交流拠点を結ぶ周遊ネットワークの創出

取組中の関連事業・活動

基幹的事业

継続的事业

管理等付帯事業

施策展開の方針	番号	事業名称	事業主体	事業内容	ハード事業	ソフト事業	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度以降	事業手法等
(1) 散策ネットワークの創出	7	散策ネットワークPR事業	市	●散策ネットワークのPR 回遊性を高めるため、散策を促すパンフレットの作成やSNS発信等を行う。		○	パンフの作成 SNS発信等	PRの継続					
	8	散策路整備事業	市	●休憩施設（ベンチ等）の整備 散策時の便宜施設として、ベンチ等の整備や芳野川堤防の路面美化を行う。	○					整備内容の検討	休憩施設整備・堤防路面美化		社会資本整備総合交付金
(2) 多様な周遊ポイントづくり	9	桜の森整備事業	市 民間	●桜への樹種転換 回遊性を高めるため、小学校周辺の里山の針葉樹を桜に転換し、周遊ポイントを増やす。	○			整備内容、管理体制の検討			桜への樹種転換		
(3) 近隣地域との観光連携の強化	10	案内誘導サイン整備事業	市	●案内誘導サインの整備 来訪者への便宜を図るため、主要道路沿道に案内誘導サインを整備する。	○					設置個所の抽出	案内誘導サインの整備		社会資本整備総合交付金
	11	サイクリング環境充実事業	県・市	●レンタサイクルの利用促進 自転車による広域観光を促すため、レンタサイクルの促進、サイクリングルートの検討、サイクリングマップの利用促進を行う。		○	レンタサイクルの利用促進						
										サイクリングルートの検討 サイクリングマップの活用			

3. 毛皮革など地域の産業振興

取組中の関連事業・活動

基幹的事业

継続的事业

管理等付帯事業

施策展開の方針	番号	事業名称	事業主体	事業内容	ハード事業	ソフト事業	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度以降	事業手法等
(1)毛皮革工芸のまちの魅力発信	12	毛皮革製品開発事業	民間	●毛皮革の新製品開発 毛皮革工芸のまちの魅力を発信するため、新製品の開発や、毛皮革製品の戦略的PR、販路拡大を行う。		○	新商品開発、戦略的PR、販路拡大						
(2)銘木、高原野菜などの活用	13	農林業新製品開発事業	民間	●農林業関連の新製品開発 うたの産商品の魅力を浸透させるため、銘木や高原野菜などを活用した新製品の開発や、農林業関連製品の戦略的PR、販路拡大を行う。		○	新商品開発、戦略的PR、販路拡大						
(3)地域産業を活かした地域活性化	14	重点事業 関係人口創出・拡大事業	市	●工房等の誘致促進 地域産業による地域活性化を促進するため、工房等の誘致を行う。		○	工房等の誘致促進						
				●地域の職人との交流促進 地域産業に関連する職人・デザイナー等との交流を促すためイベントを開催し、新製品開発の土壌をつくる。		○	交流促進イベントの開催		交流促進イベントの継続				
	15	体験ツアー開催事業	民間	●農林業体験ツアーの拡充 関係人口の拡大のため、現在実施している農林業体験ツアーの拡充を図る。 ●毛皮革・木工製品づくり体験教室 地場産業を活かした地域活性化のため、毛皮革製品や木工製品の体験教室を開催する。		○	ツアー・教室の実施方法の検討、具体化可能な取組から順次実施						

4. 暮らしやすさの向上と雇用創出による移住・定住の促進

取組中の関連事業・活動

基幹的事业

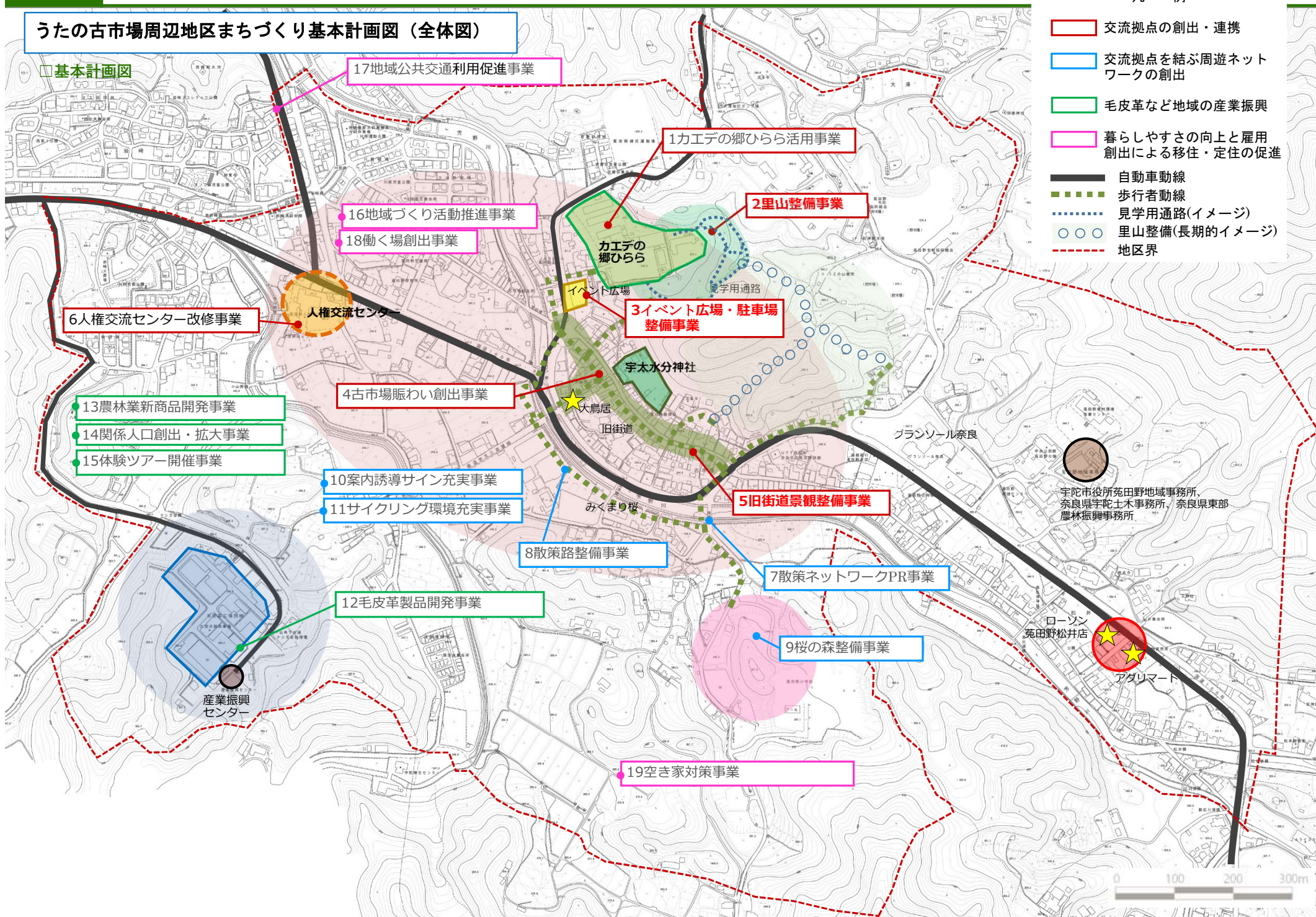
継続的事业

管理等付帯事業

施策展開の方針	番号	事業名称	事業主体	事業内容	ハード事業	ソフト事業	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度以降	事業手法等
(1)市民交流の充実および生活環境の向上	16	地域づくり活動推進事業	民間	●地域住民の交流促進活動 多世代交流と地域活性化を目的として、朝市などの地域づくり活動や、伝統文化の継承活動に取り組む。		○	地域住民の交流促進活動、地域の歴史・文化の継承						
	17	地域公共交通利用促進事業	市	●らくらくバスの運行サービスの改善案の検討・実施 生活の利便性向上のため、公共交通の利用促進やらくらくバスの運行サービスの改善案の検討・実施を行う。		○	らくらくバスの運行サービス改善案の検討		公共交通の利用促進				
(2)地域内での働く場の創出	18	働く場創出事業	市	●地場産業の振興・就業の場創出 職住近接による利便性の向上のため、地場産業の振興や交流拠点の提供などにより就業の場を創出する。		○	地場産業の振興や交流拠点の創出などによる就業の場創出						
(2)移住・定住の促進	19	空き家対策事業	市	●移住・定住希望者の受け入れを促進するため、既存空き家対策事業の拡大の検討、実施する。		○	既存空き家対策事業の拡大の検討、実施						

うたの古市場周辺地区まちづくり基本計画図（全体図）

基本計画図



凡例

- 交流拠点の創出・連携
- 交流拠点を結ぶ周遊ネットワークの創出
- 毛皮革など地域の産業振興
- 暮らしやすさの向上と雇用創出による移住・定住の促進
- 自動車動線
- 歩行者動線
- 見学用通路(イメージ)
- 里山整備(長期的イメージ)
- 地区界

宇陀市役所菟田野地域事務所、奈良県宇陀土木事務所、奈良県東部農林振興事務所

ローソン 菟田野松井店
アグリマート



基本構想の目標に対する事業効果（KPI）に採用する指標・目標を以下の通り設定します。

重点整備事業のテーマ	対応する基本構想 基本方針	関連する主な事業	指標	現況	目標 (令和9年度)
生活の充実	交流拠点の創出・連携 交流拠点を結ぶ周遊ネット ワークの創出	1. カエデの郷ひらら活用事業 2. 里山整備事業 3. イベント広場・駐車場整備事 業	カエデの郷ひららの利用者数	43,033人/年	55,000人/年
		6. 人権交流センター改修事業	人権交流センターの利用者数	11,083人/年	14,000人/年 (現況の約1.3倍)
産業の振興	毛皮革など地域の産業振興	14. 関係人口創出・拡大事業	複数業者のコラボによる新規事業数	0件	3件
観光の振興	暮らしやすさの向上と雇用 創出による移住・定住の促 進	16. 地域づくり活動推進事業	既存イベントの集客数	2,500人	3,000人